

平成25年10月28日

埼玉県との包括的連携協定の締結について 県内金融機関初！産業振興・中小企業等の支援など16分野で連携

武蔵野銀行(頭取 加藤 喜久雄)は、「県民サービスの向上」と「地域の活性化」に向けた連携協力を図るため、県内の金融機関では初めて埼玉県と包括的連携協定を締結いたしますのでお知らせいたします。

当行では、「埼玉に新たな価値を創造する『地域No.1銀行』」(Value-making Bank)の実現に向けさまざまな取組みを実施しておりますが、本協定の締結を契機に埼玉県との一層の連携協力を促進し県民の皆さまへの多様なサービスの創出や地域の活性化に取り組んでまいります。

1. 協定の目的

当行と埼玉県は、緊密な相互連携と協働により、双方の資源を有効に活用し「県民サービスの向上」と「地域の活性化」に取り組む。

2. 協定に基づく連携分野

(1) 産業振興・中小企業等の支援	(9) 健康増進
(2) 就業支援・雇用促進	(10) 地域・暮らしの安全・安心
(3) 埼玉県の地産地消	(11) 男女共同参画
(4) 観光振興	(12) 子育て支援
(5) 埼玉県のイメージアップ	(13) 子ども・青少年育成
(6) 県政の情報発信	(14) 環境保全
(7) 防災・災害対策	(15) NPO・ボランティアの活動の支援
(8) 高齢者支援	(16) その他、地域社会の活性化・県民サービスの向上

3. 協定締結日等

- (1) 日 時 平成25年10月31日(木) 午前10時～午前10時20分
- (2) 場 所 埼玉県庁 知事室
- (3) 出席者 当行 頭取 加藤 喜久雄
埼玉県 知事 上田 清司

4. 具体的な取組み

(1) 締結記念事業

「防災・災害対策」分野への協力のため、女性行員の旧制服(※)をリサイクルし作製した軍手3,000双を防災備蓄品として、埼玉県へ寄贈いたします。

※創業60周年事業として平成24年4月1日に女性行員の制服をリニューアル

(2) 今後の取組み

当行及び埼玉県が新たなアイデアを互いに発案し事業の具現化に向け協働して取り組む。

・政策課題の共同研究(民間企業として初参加)

「県民サービスの向上」、「地域の活性化」事業の具現化に向けて埼玉県、市町村及び当行が分野横断的な政策課題について共同研究を行ない、事業の具現化に向けて取り組む。

・産業振興、就業支援

産学官連携のスキームを活用し起業に関する講義や若手企業家との討論などを行なう。

・環境保全

埼玉の自然環境保全・創出に向けた取組み。



【埼玉県と当行の連携に関するイメージ】

【連携の目的】

当行と埼玉県は、緊密な相互連携と協働により、双方の資源を有効に活用し「県民サービスの向上」と「地域の活性化」に取り組む。

【当行】

長期ビジョン

中期経営計画（1／3）

「埼玉に新たな価値を創造する『地域No.1銀行』」

- ・地方公共団体とのパートナーシップの強化

連携強化

【埼玉県】

埼玉県5カ年計画

「安心・成長・自立・自尊の埼玉へ」

（三大プロジェクト）

- ・エコタウンプロジェクト
- ・健康長寿プロジェクト
- ・ウーマノミクスプロジェクト

県民サービスの向上

地域活性化

以上

報道機関からのお問合せ先
総合企画部 松本・小池
TEL (048) 647-2718